

新1年次用

科目名	必修/選択	単位数	学年	学科
音楽 I	選択	2	1	普通科

科目の概要	<p>年間を通して実技〔歌唱(外国歌曲と合唱)・器楽(バイオリンとリズム・アンサンブル)と鑑賞(西洋音楽史を含む)を行います。</p> <p>実技活動を通しては、良い音楽とはどういうものかを感じ取り、様々な発音・発声を通して表現を学びます。</p> <p>鑑賞活動では、長く愛されてきた音楽の特徴や背景を学び、共通性や固有性と自分なりの価値を見出しながら、美がどのような要素で成り立っているのかということ进行分析をおこないます。</p>
-------	--

教材名	教科書	Tutti + 音 I (教育出版)
	副教材	Music Note はじめてのバイオリン

担当者	笠原 禎
-----	------

学習到達目標	<p>①音楽表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、演奏能力の向上を図り、効果的に演奏するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>②音楽のよさや美しさを感じ、表現を工夫したり、作品の意味や価値を考え、作品の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>③主体的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
--------	---

学習方法	<p>①音楽の三分野「演奏実技」「創作実技」「鑑賞」を確認し、理解する。</p> <p>②演奏実技・鑑賞の学習を通して、自己の創造的な表現に生かすことを理解する。</p>
------	---

評価基準と評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏 ・鑑賞テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏 ・鑑賞ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する姿勢 ・技術向上の度合い
A	<ul style="list-style-type: none"> ・各実技の演奏表現、創作表現をするために必要な基本的技能を習得している。 ・作品の美しさや価値を十分に理解し、鑑賞することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽のよさや美しさを感じ、意図に基づいて表現を工夫したり、作品の意味や価値を考え、味わい捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組むことができ、技術や表現方法の向上が見られる。 	
B	<ul style="list-style-type: none"> ・各実技の演奏表現をするための技能を不十分ではあるが習得している。 ・作品の美しさや価値を一部分理解し、鑑賞することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不十分ながら音楽のよさや美しさを感じ、意図に基づいて表現を工夫したり、作品の意味や価値を考え、味わい捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不十分ながら主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組むことができ、技術や表現方法の向上が見られる。 	
C	<ul style="list-style-type: none"> ・各実技の演奏表現をするための技能を習得できていない。 ・作品の美しさや価値を理解し、鑑賞することができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽のよさや美しさを感じ、意図に基づいて表現を工夫したり、作品の意味や価値を考え、味わい捉えることができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組むことができず、技術や表現方法の向上が見られない。 	

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4	オリエンテーション	・1年間の学習内容の概要、1回ごとの授業の進み方を知る	2	
5	バイオリン実技の基礎 音楽史・鑑賞①	・楽器取り扱い法、基礎的奏法 ・バッハからシューベルトまで	14	
6	バイオリン実技まとめ 音楽史・鑑賞② 音楽史・鑑賞③	・課題「ロングロングアゴー」 ・メンデルスゾーンからシューマンまで ・バッハと通奏低音	2 2	実技試験
7	リズム・アンサンブル 音楽史・鑑賞④	・打楽器の奏法の基礎、アンサンブル ・ショパンからサン・サーンスまで	10	音楽史試験
8				
9	リズム・アンサンブルまとめ 音楽史・鑑賞⑤ 外国歌曲歌唱 音楽史・鑑賞⑥	・リズムテキストから任意の2曲演奏 ・弦楽器の演奏家たち ・イタリア歌曲、ドイツ歌曲 ・チャイコフスキーからドヴォルザークまで	2 2 4	実技試験
10	外国歌曲まとめ 音楽史・鑑賞⑦ バイオリンアンサンブル	・任意の1曲演奏 ・ドビュッシーからシベリウスまで ・グループごとに1曲を習得する	2 4	実技試験
11	バイオリンアンサンブルまとめ 音楽史・鑑賞⑧	・グループごとに1曲演奏 ・ラヴェルからラフマニノフまで	4 2	実技試験 音楽史試験
12	合唱実技	・講座ごとに1曲を選び、6時間練習後に録音。他講座の録音を聴き、評価するコンクール形式で行う	4	
1	合唱評価	・他講座の演奏を審査	2 6	
2	音楽史 鑑賞⑨⑩⑪⑫	・舞台芸術の歴史 ・声楽史 バッハからラフマニノフまで	8	
3				